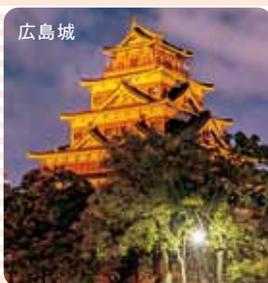


# 9月 は世界アルツハイマー月間

国際アルツハイマー病協会（ADI:108の国と地域が加盟）が認知症への正しい理解がすすむことを目的に、世界中で啓発活動を行っています。日本（「家族の会」）では、全国各地で啓発リーフレットを配布する活動や記念講演会の開催などに毎年、取り組んでいます。

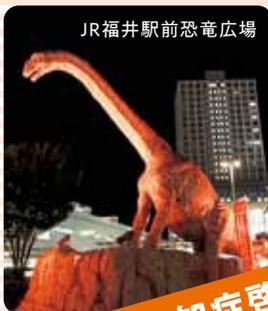
認知症支援の色は  
**オレンジ**  
全国各地で  
**ライトアップ!**



広島城



京都タワー



JR福井駅前恐竜広場

写真は昨年度の様子

全国の認知症啓発ライトアップを  
インターネットで生中継!



2020.9.21(祝) 18:40~  
<https://bit.ly/3ey64uP>

放送後は録画を公開



40<sup>th</sup>  
Anniversary  
SINCE 1980

—認知症になっても安心して暮らせる社会を—  
「家族の会」は  
結成40周年を迎えました

認知症の  
人どうし、  
家族どうしの絆

全国で本人や家族が集まり、悩みや喜びを話し合うつどいを開催。介護体験や情報などを掲載した会報を発行。年間のべ20,000件の相談活動。

社会への発信

国・自治体への提言・要望や講演会などの普及啓発活動。

「家族の会」は1980年に結成、今年で40周年を迎えました。全都道府県に支部があり、会員11,000名。どなたでも入会できます（年会費5,000円）。

活動内容、各地のつどいなどの情報は「家族の会」ホームページをご覧ください。

家族の会 検索

結成総会  
1980年1月、



Zoom総会開催  
2020年6月、



「家族の会」の他にも当事者のための団体があります  
認知症関係当事者・支援者連絡会議  
[ninchisho-renrakukai.com](http://ninchisho-renrakukai.com)



公益社団法人  
認知症の人と家族の会 代表理事 鈴木森夫



〒602-8222 京都市上京区晴明町811-3 岡部ビル2F  
TEL 050-5358-6580 FAX 075-205-5104  
ホームページ <http://www.alzheimer.or.jp>

認知症の  
電話相談



0120-294-456 (10:00~15:00)  
(土日祝を除く)  
(通話無料)

携帯・スマホからは 050-5358-6578 (通話有料)

〈支部連絡先〉

忘れても  
出会いがつなぐ  
この一歩



9月21日は  
世界アルツハイマーデー

認知症になっても安心して暮らせる社会を

イラスト:青山ゆずこ



公益社団法人 認知症の人と家族の会  
Alzheimer's Association Japan

国際アルツハイマー病協会提唱

厚生労働省後援



〈協力〉



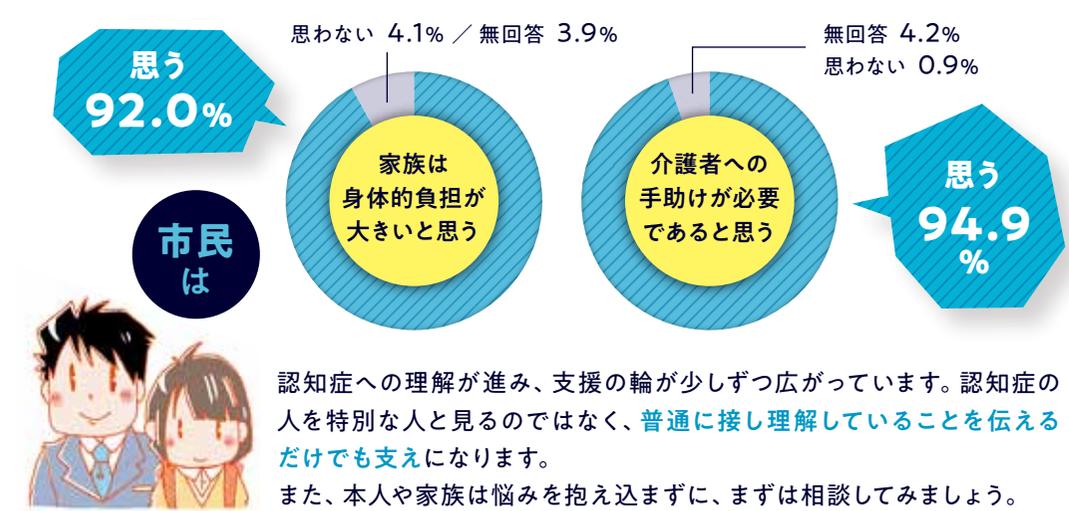
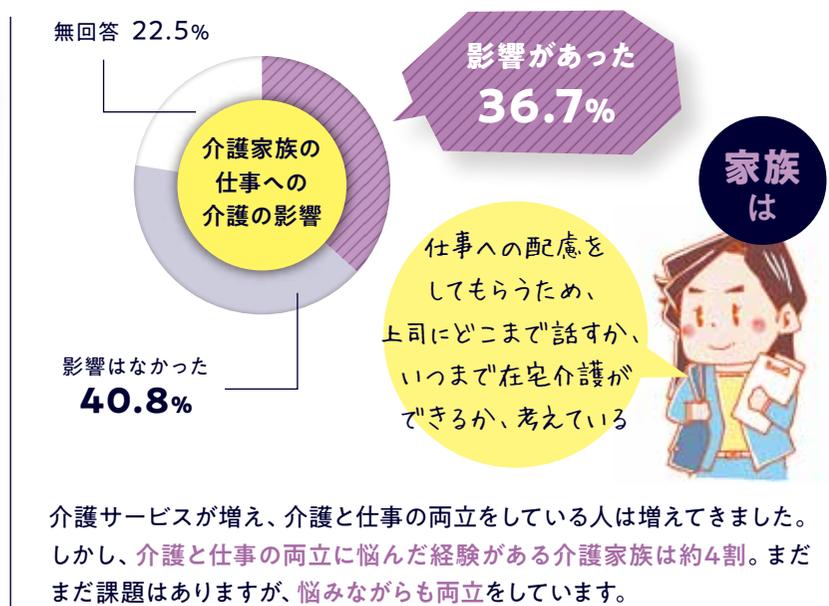
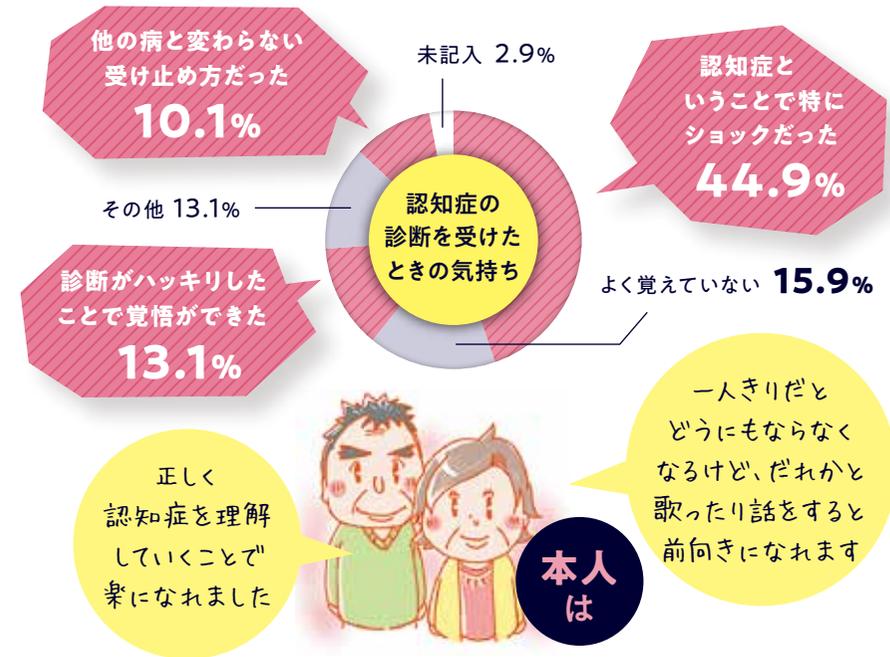
@kazokunokai 「家族の会」

[alzheimer.or.jp](http://alzheimer.or.jp)

アクサ生命

# 仲間の話を聞き、前向きに暮らすことができている

推計によると全国に500万人の認知症の人がいます。「認知症になったら人生おしまい」…そんなふうに思っていないですか？  
いいえ、そんなことはありません。病を抱え、つらい思いをしながらも家族や周りの人に支えられ前向きに暮らしている人も多くいます。  
社会の意識も変化しており、認知症とともに生きる新しい時代が来ています。「家族の会」が行った調査\*から、ご紹介します。



**認知症は誰もが  
かかわる身近な問題  
みんなで考えよう**

認知症の本人や家族の不安や悲しみは、今も昔も尽きません。病気や現実と向きあえない後ろ向きな自分に落ち込むこともあります。しかし、同じ病の人や介護家族と出会い、話をしたり、地域の人々のサポートで元気になり、前向きに暮らしています。そして周囲の理解が進み、制度が少しずつ充実していくことが希望につながっています。認知症になったらおしまいにとらえず、正しく理解し、ともに生きていく社会を作りましょう。

**コロナ  
とともに  
ふれあえる  
ことの大切さ**

新型コロナウイルス感染症による外出自粛は、あらためて人と人がふれあい、言葉をお互いに交わすことの大切さを感じる期間でした。「家族の会」の“つどい”（交流会）は、家族や認知症の人が思いを語り、話を聞く共感の場です。このような心と心がふれあえる場を大切にしながら、コロナとともに、認知症とともに暮らせる社会を考えていきましょう。

**認知症になったら…  
と、心配している  
あなたへ**

調査結果からも、認知症を理解し、何か手伝えることはないかと思う人が多くいます。地域で希望をもって自分らしい生き方をしている認知症の人もたくさんいます。その時に備えて、今から正しい知識をもち仲間を見つけましょう。

\*2019年に実施した「認知症の人と家族の思いと介護状況及び市民の認知症に関する意識の実態調査」調査研究結果によるものです 調査報告書はホームページでご覧いただけます